

植林特集号

～植林で緑豊かな地球作り～



NEWS 2007 AUGUST
No.09

植林の今
訪問者のインタビュー
uprの取り組み内容
緑化推進センター
植林事業について

1
2
2
3
4



(上：現地風景、下：記念植樹)

植林の今

環境との調和を目指す

植林は人が生きていく為に重要な行為です。福井県鳥浜遺跡や青森県山内丸山遺跡で、紀元前4500年前に栗の木を植林されていることがわかった。その植林の目的は栗の実を取って生活することでした。そこからずっと遡り、近代では産業革命と人々の生活向上の為に世界中で多くの樹木が伐採されてきました。特に1881年から第二次世界大戦までの間、当時英国統治下でもあった東南アジアからは、家具や楽器・ボート等の材料として伐採し輸出され、第二次世界大戦後の1950年頃には、戦後復興の為に伐採輸出が更に進み、マッチや油・石鹼・塗料等、食品としてはグワバから果実やジュース等の甘味料・染料・鑑賞樹等の為に樹木が伐採され続けた。

近年、木材輸出量は年々増え続け特にインドネシアのサバ州の森林はものすごいスピードで消滅してしまった。サバ州の全土に占める森林率は、1972年に86%だったのが現在は50%以下。このままでは更に森林が減少し輸出する木材は無くなり、そこで暮らす人々や州としての財源が消滅し、社会経済の発展に支障を来してしまいます。よって、現在木を利用し企業活動している様々な企業が、植林事業がボランティアで始まっています。

(大阪営業所 須貝志郎、佐々木淳)

地球温暖化ストップ！ 私達uprの活動もスタートしました インドネシアで1本からスタートです

訪問者のインタビュー

植林を通じて異文化を体験することができました！



(記念植樹)

●山口営業所 渡壁 敏

今回のテーマの最重要プロジェクトでもある「植林」ですが、そのことは別の記事を読んで頂くこととし、私は「くいしんぼうinインドネシア」と題して「食事」について書きたいと思えます。今回のプロジェクトの訪問先であります、インドネシア・スマトラ郡・パニングハン村は山奥深くにある、シンカラ湖畔のきれいな村でした。

当然、昼食もシンカラ湖で捕れた魚を使った料理が多かったのですが、写真のシーフードカレーライスがとっても印象に残りました。

皆、一声にpandai(パンダイ)うまい 現地のひとは神聖な右手で起用に食べていましたが、スプーンも用意してくださり、おいしくいただきました。味は日本のスープカレーに近いものがあり、ミルクが加えてあるのかクリーミーでとてもおいしかったです。日本と大きく違う点はとうがらしをオイルで炒めた、辛さ調節なるものがありました。写真は赤とうがらしです



(シーフードカレー)

が青とうがらしで激カラもありました。最後に teri kasih banyak (トゥリマカスイ バニヤツ) どうもありがとう 現地のひとは sama-sama (サマサマ) どういたしまして



(記念式典)

●東京営業所 大本真寿男

現地のパトカーはサイレンを鳴らし続けていた。西スマトラ州の副知事に連れられて、州の来賓公舎でしばしの歓談と軽食に舌鼓をうった私達は、その小さなホワイトハウスを思わせる瀟洒な建物を後にし、現地の方からの歓迎式に出席する為、車の中で揺られていた。日本の田舎ぐらい

upr の取り組み内容

「地球と人を尊重する会社」の第一歩

当社では今年より環境への取り組みの一貫として、当社の木製レンタルパレットの主材料の産地であるインドネシアで植林を行うことになり、財団法人国際緑化推進センターを通じ、植林を実施することになりました。今回より植林を行う場所はインドネシアのパニングハン村(スマトラ島西スマトラ州都バタンから車で約2時間の所)で、植林を行った樹種は主に高級家具の材料として有名なマホガニーを始め、スリワンギ、チョウジ、ククイノキ、グワバです。

植林規模は今年14ha(東京ドームの3倍)で今後3年間で41haの植林を実施します。現地では目立った大きな産業は無く今回の植林は一大プロジェクトであり、現地のみなさんの期待は大きく、将来は1000haの植林をしたいと計画しているようです。

今後、「環境」という言葉が企業のキーワードになることは間違いありません。当社では当社の企業理念にも唱っている「地球と人を尊重する会社」を目指し、当社なりの環境経

営を行っていきたいと思っております。

(名古屋営業所 谷口 隆、
福岡営業所 阿部昌宏)



(植林計画説明の前にて)



UPR Ube Pallet Rental Leasing

選べるパレット 探せるパレット
レンタルパレットの未来を切開く

パニンガハン村で行われた歓迎式では、現地の 方々からの私達への大きな期待と感謝が感じら れました。私達はこれからも毎年、植林の進み具 合を視察していく予定です。

には人の気配があり、民家も見える
アスファルトの道を2時間、パトカー
の後ろにできたフリーウェイを走り続
けて、ようやく目的地であるパニンガ
ハン村に辿り着いた。

赤道直下の厳しい陽射しの下、副知
事や関係者の挨拶を聞いているうち
に頭がクラクラしてきたものの、村民
総出かとも思われるほどの出席者
の多さに、私達が今、大変な歓迎を
受けているということが良く伝わって
きた。伝統的な衣装に身を包んだ美
しい女性達のダンス、シンカラ湖を
小船で遊覧、手飼いの猿が椰子の
木を登り、取ってきた実のジュースを
飲む。今回の私達の寄付により、
41haの土地に植林が行われること



(ウェルカムダンス)

になっている。私達もその土地に苗
木を植え、自分の名前を記したプ
レートをさした。今回の植林活動は
あくまで寄付なので、植林された木
は私達の所有物にはならない。けれ
ども、私達が今植えている苗木や今
後現地の方が育てて下さる植林が
10年後20年後には立派に成長し、
かつての伐採で緑が奪われたこの
土地に、微力ながら再び活力を与え
ることができる——。そう思うと、苗
木を植える手が少し熱くなった。

●SCM本部 成松静佳

今回、財団法人国際緑化推進セン
ター(JIFPRO)の熱帯林造成基金に
3年間にわたり寄付を行うことで、
インドネシアの緑化推進に貢献でき

る事はもちろんですが、現地に行き
感じた事は、植林活動は周囲住民
の雇用・経済支援になっており非常
に期待されていることです。

弊社・JAFPRO・周辺住民の協力に
より植えた木が大きく育ち、41haが
林になる日が楽しみです。

(東京営業所 荒川 信太郎、

山口営業所 判野 昌司、

総務本部 池田 勝明)



(メインストリート)



(上：歓迎パーティー、下：シンカラ湖)

緑化推進センター

緑の地球づくりへ向けて

1.国際緑化推進センターとは？

財団法人国際緑化推進センター(JIFPRO)は、世界各国
における緑化活動の積極的な展開を図り、国際緑化に関
わる国内のNGOやNPOが海外で行う緑化活動を支援して
います。

具体的な内容として…

- ・国際林業協力を担う人材の養成・確保
- ・国際林業協力や海外の森林・林業に関する情報の収集
や提供
- ・NGOなどの民間団体等が行う国際林業協力や海外の森
林保全・造成に関する活動への支援
- ・熱帯林の保全・造成等に資するための調査や技術開発
研究
- ・国際緑化に関する普及・啓発および国際林業交流活動

の推進

2.植林活動について

JIFPROでは、地球環境の改善と地域住民の生活向上、
また、各諸国との友好促進を目的とし、熱帯途上国の荒
廃地の緑化を図るために「熱帯林造成基金」を設けて、熱
帯途上国で緑化活動に取り組んでいます。

「熱帯林造成基金」による事業は、①一般市民や企業な
どから寄せられた寄付金を基に、途上国で緑化活動に携
わる国際林業NGOへ苗木代を支援するNGO熱帯林造成
支援事業②JIFPROが自ら熱帯途上地域等で荒廃地の緑
化に取り組む熱帯林造成事業の2つがあります。

今回、弊社は同基金に寄付を行い14ヘクタール分の植林
を行ないました。

(東京営業所 柴田浩和、新規事業本部 小澤良真)

当社の植林事業は、(財)国際緑化推進センターを通じて行っています。よって、パレットの材料を調達する為の産業植林(※産業用原材料の調達を目的とした植林)ではありません。

今回植林する予定の樹種は、現地の住民にとっても重要なものを選定しました。選定した樹種は次の5種です。

①マホガニー(Mahogany) : 高さ30mぐらいになる常緑樹。軽くて堅い性質、耐久性があり加工しやすいので、高級家具や室内装飾品な

どに使われている。②スリワンギ(Toona) : 家具、楽器、合板などに使われている。③チョウジ(Clove tree) : 高さ10mぐらいになる常緑樹。種子から取れる油が丁香油、ニス、香料などに使われる。④ククイノキ(Candlenut tree) : 高さ20mぐらいになる落葉樹。種子から取れる油で灯油、石鹼などに使われる。⑤グワバ(Guava) : 常緑低木。果を生食したり、ジュースなどの加工食品に使われる。

現地の住民が望む樹種があれば変



(子供達の未来の為に)

更するなど柔軟な対応をとっていきます。(東京営業所 伊藤洋章)



(左 : 西スマトラ州長マーリスラーマン副知事と当社社長 右 : シンカラ湖)

編集メンバー



伊藤洋章

荒川信太郎

小澤良真



柴田浩和

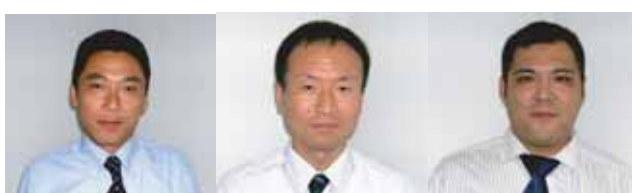
環境破壊が問題になっている昨今ですが、弊社も木材を取り扱う企業として少しでも環境に良い事ができればと植林を行ないました。いつまでも美しい森林が絶えないことを願っています。(東京営業所 柴田浩和)



谷口隆

須貝志郎

佐々木淳



判野昌司

池田勝明

阿部昌宏



[選べるパレット 探せるパレット
レンタルパレットの未来を切り拓く]

ウベパレットレンタルリーシング株式会社

■東京本社 〒105-0004 東京都港区新橋6-9-4
フロンテック新橋スタジオビル3F
Tel : (03) 3435-9141 Fax : (03) 3435-9149

■宇部本社 〒759-0134 山口県宇部市善和川東541-12
Tel : (0836) 62-1112 Fax : (0836) 62-1417

■営業所 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・
広島・山口・福岡・南九州

Ube Pallet Rental Leasing Co.,Ltd. URL:<http://www.upr-net.co.jp>